

公開用シナリオ グループワーク用教材（火山編）

P.	タイトル	説明概要
2	グループワークの流れ	<p>それでは、グループワークの流れを確認します。</p> <p>全体の流れですが、「火口周辺に近づく登山者」の場合と、「火山のふもとにお住まいの方」の2つに分けてグループワークを行います。それぞれ初めに発表と確認を行った後、意見交換を行います。途中で、意見交換を踏まえてワークシートを見直す時間も設けています。</p> <p>最後には、本日の気づきを整理し、火山災害に備えて大切なことを考えていきます。</p> <p>火山災害は発生頻度が低く、実際に経験する機会は多くありません。そのため、もしもの時に何が大切なのかこのグループワークをとおして、みなさんでイメージしていきましょう。</p> <p>本日のグループワークでは、架空の火山で活動が活発化した場合を想定し、とるべき防災対応について考えていただきます。</p> <p>その結果をもとに意見交換を行い、新たな気づきを共有して、火山災害に備えて大切なことを考えることを目的としています。</p>
3	発表・確認 登山前の事前の確認	<p>まず、火口周辺に近づく登山者の場合を想定したグループワークを行います。</p> <p>最初のテーマは、「登山前の事前の確認」について、発表と確認を行います。</p> <p>ワークシートでは、火山の噴火によるリスクを確認しました。あなたの考えた登山中の噴火による災害リスクや、火山活動、現在の規制の有無の確認方法について発表してください。</p> <p>お一人ずつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介も兼ねてお名前（可能であれば所属など） ・噴火による災害リスク（ハザードマップに記載のないものも含む） ・火山活動、立入規制の確認方法を、まとめてご紹介ください。 <p>全体の時間の目安は5分です。</p>

		<p>=====</p> <p>発表ありがとうございます。</p> <p>火山では様々な火山災害によるリスクがあることが確認できたと思います。</p> <p>ハザードマップに記載されている「大きな噴石」、「火砕流・火砕サージ」、「溶岩流」に加えて、記載されていない「火山ガス」、「小さな噴石」、「火山灰」などの現象も考慮する必要があります。</p> <p>また、現在発表されている火山に関する防災情報は、気象庁ホームページで、規制の状況は地元市町村のホームページなどで確認することができます。</p> <p>登山の際には、事前に確認しておくようにしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #fff9c4; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【進行役の方への補足】</p> <p>「火山ガス」は平時においても注意が必要な火山もあるため、事前の確認で規制等を確認することが望ましい。時間に余裕があり、この点にまで言及する参加者がいない場合は、司会者から話してください。</p> <p>今後の意見交換がしやすくなるように自己紹介と合わせて、アイスブレイクの時間とすることを想定しています。</p> </div>
4	意見交換① 情報・警報受信時の対応	<p>次に、「情報・警報受信時の対応」について意見交換を行います。</p> <p>【火山の状況に関する解説情報（臨時）受信時の対応】</p> <p>登山中に、火山の状況に関する解説情報（臨時）が発表されました。現時点では噴火警戒レベルが引き上げられるほどではないものの、平常時より火山活動が高まっている状況です。</p> <p>規制等はされない想定ですので、登山を継続することは可能です。この時点で登山者が確認すべきことは何か、登山を継続するかどうかについて、意見交換を行います。</p> <p>【噴火警戒レベル2受信時の対応】</p>

		<p>また、その後、登山者は登山を継続し、火口近くで噴火警戒レベルを2に引き上げる噴火警報を受信しました。</p> <p>噴火警戒レベルが2に引き上げられると、A火山の場合、想定火口から1km以内の範囲への立ち入りが規制されます。登山者が火口のどの位置にいて、何をすべきか意見交換を行います。</p> <p>解説情報（臨時）と噴火警戒レベル2の受信時それぞれについて、ワークシートに記載した内容をもとに意見交換を行ってください。</p> <p>下山する場合はどの登山道を通るかも教えてください。</p> <p>お一人ずつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説情報（臨時）受信時の対応とその理由 ・噴火警戒レベル2受信時の対応とその理由 <p>を、まとめて発表し、その後、意見交換を行ってください。</p> <p>全体の時間の目安は5～10分間です。</p> <p>=====</p> <p>それでは、時間になりましたので、意見交換を終わってください。</p> <p>同じ解説情報（臨時）を受けた対応でも、それぞれの考え方で、「注意しながら登山を継続する」、「下山する」など対応が異なるかと思います。どちらが正解ということはなく、火山活動のリスクを踏まえて対応することが大切です。（「気にせず登山する」という判断は避ける。）</p> <p>また、噴火警戒レベルが2に引き上げられた場合、危険な地域からは退避することが大切になります。どのルートで下山するかは、周囲のシェルターの整備状態や想定される火山現象の範囲を踏まえて判断することが大切です。</p>
5	意見交換② 噴火速報受信時の対応	<p>それでは次の意見交換です。</p> <p>テーマは「噴火速報受信時の対応」です。</p> <p>登山中に、噴火速報を受信しました。</p>

		<p>噴火速報は、登山者や周辺の住民に対して、噴火の発生をお知らせする情報です。噴火速報が発表された場合は、噴火が発生して、危険が迫っている可能性がありますので、噴火から直ちに身を守る行動をとる必要があります。</p> <p>登山者はどのような対応を最優先にするべきか、ワークシートに記入した内容を基に意見交換を行ってください。</p> <p>時間の目安は5～10分間です。お一人ずつ、発表し、その後、意見交換をしてください。</p> <p>＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝</p> <p>それでは、時間になりましたので、意見交換を終わってください。</p> <p>噴火速報が発表された場合、直ちに身を守るためにとるべき行動は、置かれた状況により異なります。</p> <p>いざというときの対応について、いろいろな状況を事前に考えておくことも大切です。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #fff9c4; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【進行役の方への補足】</p> <p>時間に余裕があれば、以下の内容のうち意見交換で意見がなかったものについて、補足説明をしてください。</p> <p>今回のような登山中の場合は、近くにシェルターや避難小屋があれば避難する。なければ、近くの岩陰に身を隠す。持っている荷物で頭を守るなどの対応が考えられます。</p> <p>火山灰が口に入ることや気道熱傷を防ぐため、口と鼻をタオルやハンカチなどで覆うことも有効です。</p> </div>
6	発表・確認 事前の確認、普段からの備え	次に、火山のふもとに住んでいる場合を想定したグループワークへ移ります。最初は、「事前の確認、普段からの備え」について発表と確認を行います。

公開用シナリオ グループワーク用教材（火山編）

		<p>火山のふもとに住んでいる場合を想定したワークシートでは、まず、火山の噴火によるリスクを記入してもらいました。</p> <p>想定する自宅が影響を受ける可能性のある現象について記入した内容を、お一人ずつ発表してください。</p> <p>時間の目安は5分間です。</p> <p>=====</p> <p>発表ありがとうございます。</p> <p>自宅が火山のふもとにある場合、火山災害が発生した際には様々な危険が想定されます。</p> <p>特に、火砕流・火砕サージは高温かつ高速で自宅に被害を及ぼすため、避難が必要であることを、確認しておいてください。</p> <p>また、今回使用する火山ハザードマップ・火山防災マップには記載されていませんが、小さな噴石や火山灰についても注意することが必要です。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #fff9c4; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【進行役の方への補足】</p> <p>小さな噴石や火山灰は、レベル2やレベル3など避難の必要がない火山活動の状況においても、火山のふもとの居住地域に影響を及ぼすことがあります。また、火山から遠く離れた地域でも火山灰の影響を受ける場合があります。</p> <p>時間に余裕があれば、これらに対する備えについて意見交換を行ってください。</p> </div>
7	意見交換③ 噴火警戒レベルが引き上げられた場合の対応	<p>次に、「噴火警戒レベルが引き上げられた場合の対応」について意見交換を行います。</p> <p>噴火警戒レベルが、3、4、5と順に引き上げられました。</p>

		<p>それぞれの時点でどのような準備・行動をすべきかワークシートに記入した内容を基に意見交換をしてください。</p> <p>お一人ずつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴火警戒レベル3、噴火警戒レベル4、噴火警戒レベル5のそれぞれの発表時における対応 <p>についてまとめて発表し、その後、意見交換を行ってください。</p> <p>全体の時間の目安は5～10分間です。</p> <p>=====</p> <p>それでは、時間になりましたので、意見交換を終えてください。</p> <p>レベルに応じて、危険な地域からは確実に退避、避難すること、レベル3で危険な地域に該当していない段階でも、いざという時のために、避難などの対応も含めて確認しておくことが大切です。</p> <p>今回は、噴火警戒レベルが3、4、5と順番に引き上げられる想定をしましたが、実際には、必ずしも順番に引き上げられるとは限らない場合もありますので、注意してください。</p> <p>また、噴火後に避難する場合、風に流されて降ってくる小さな噴石や火山灰にも注意し、ヘルメット、マスク、ゴーグルなどを身につけて避難する対応も必要ということに留意しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【進行役の方への補足】</p> <p>3月の積雪期を想定していますので、火砕流が実際に発生した場合は融雪型火山泥流の可能性もあります。</p> <p>避難所に避難する場合には、融雪型火山泥流のことも考慮して、自宅から近いY地区の避難所でなく、W地区の避難所に避難するなどの対応も必要になります。</p> </div>
8	意見交換を踏まえてワークシートを	それでは、これまでの意見を踏まえて、自分の作成したワークシートを点検する時間を設けます。

公開用シナリオ グループワーク用教材（火山編）

	<p>点検・修正</p>	<p>その際、必要なら適宜修正を行ってください。</p> <p>なお、点検・修正作業のあと、今日気付いたことや勉強になったこと、「火山災害に備えて大切なこと」を発表する時間を設けます。何を発表しようかも意識しながら、作業してみてください。</p>
<p>9</p>		<p>では、これまでの意見交換を踏まえて、実際にワークシートを見直してみましょう。</p> <p>本日の話し合いの中で、「新たに気づいたこと」や「勉強になったこと」を発表してもらいます。</p> <p>修正といっても、自分の意見を消して、他の考えに直す必要はありません。</p> <p>今の自分の考えを残しておくことも大切にしましょう。</p> <p>少し時間を取りますので、各自で整理してみてください。</p> <p>ワークシートの修正の時間の目安は5分です。</p>
<p>10</p>	<p>意見交換⑥ いま、あなたができること</p>	<p>それでは、最後の意見交換です。</p> <p>テーマは、「火山災害に備えて大切なこと」です。</p> <p>ここまでの話を踏まえて、火山災害に備えて、今、あなたができる対策、大切だと思うことについてもう一度考えてみましょう。</p> <p>そして、一人一言ずつその考えを教えてください。</p> <p>時間は5～10分間です。</p> <p>それでは、始めてください。</p> <p>=====</p> <p>それでは、時間になりましたので、意見交換を終えてください。</p> <p>火山災害はまれにしか起きない現象であり、実際の火山災害の場面</p>

公開用シナリオ グループワーク用教材（火山編）

		<p>では、情報が不十分だったり錯綜したりする中で、判断に迷うことも考えられます。</p> <p>だからこそ、いざというときのために、皆さん自身であらかじめ火山について知り、備えておくことが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な地域からは事前に避難 ・常に最新の情報を確実に入手するために様々な手段で情報を入手できるようにしておくこと <p>そうした基本も、今日の議論と合わせて心に留めていただければと思います。</p>
11	まとめ	<p>おつかれさまでした。</p> <p>最後にまとめとお願いです。</p> <p>火山活動が高まった時や噴火が発生した時の避難行動を考えるときのポイントは3つあります。</p> <p>避難指示や噴火警報が発表されたら危険な地域から事前に避難しましょう。</p> <p>自分自身が火山の噴火に気づいたとき、噴火速報が発表されたときは、直ちに身を守る行動をとる必要があります。近くの頑丈な建物の陰や中に入って身を守ります。近くに建物等がない場合は、飛んでくる噴石等から身を守るため、かばんやリュックなど持っている物で頭を覆うようにしましょう。</p> <p>噴火後に避難する場合には、火山から離れた場所でも風に流されて小さな噴石や火山灰が降ってくることもあるので、ヘルメットをかぶる、マスクをするなどの対応をして注意して避難しましょう。</p>
12	おわりに	<p>本日のグループワークでは、火山災害が起こった時の登山者と、火山のふもとに住んでいる方、それぞれの対応について意見交換を行い、具体的に確認してきました。本日は、架空の想定でしたが、実際には人それぞれ、置かれている状況は異なります。</p> <p>火山災害の対策は、あらかじめ準備や対応を行っておくことが大切です。</p>

公開用シナリオ グループワーク用教材（火山編）

	<p>「火山の情報を知る」「火山情報を確認する」「避難の指示や噴火警報が発表されたら避難する」ということを意識して、自分の命を守る行動がとれるよう、本日見つけた「できること」から、一つずつ備えを進めていきましょう。</p> <p>そして、本日の学びをさらに広げ、また、自身の周りの方にも共有していただけたら嬉しいです。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
--	---